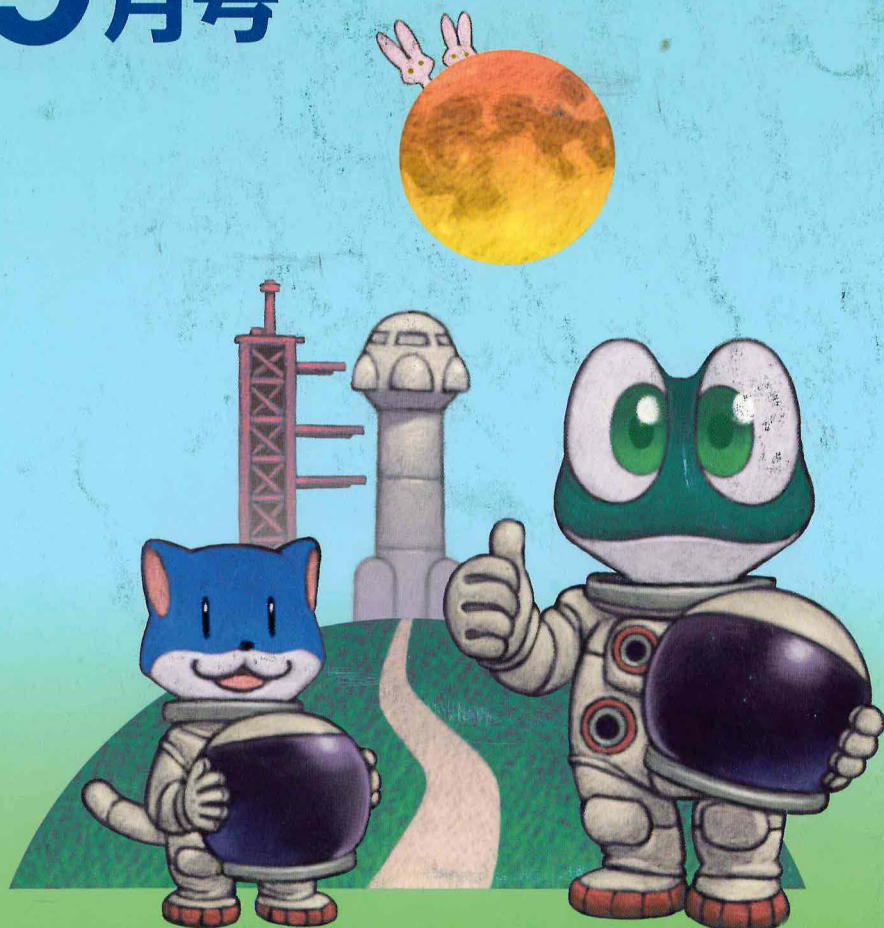


月刊 ケアマネジメント

9月号

特集

精神疾患のある
利用者支援の新常識



特別企画

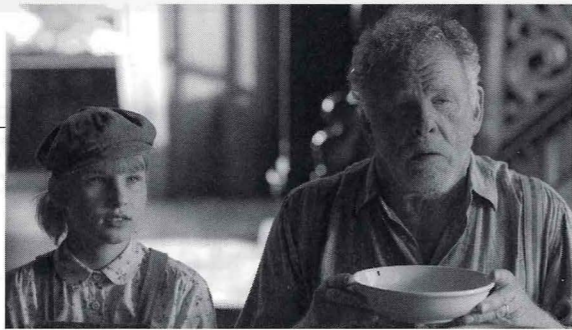
認知症の方と家族のための排泄ケア

連載

長尾和宏の「在宅介護を快適にする極意」
精神疾患のある患者さんの希死念慮に
どう向き合うか

新連載

性的マイノリティの老いを考える



本人が望むことをかなえよう!

タイトルの「ヘッド・フル・オブ・ハニー」(頭が蜂蜜でいっぱい)は、認知症になったおじいちゃん(ニック・ノルティ)が、孫娘のマチルダに「どんな感じ?」と聞かれた答え。

マチルダの両親はアメリカからロンドンに移住し、贅沢な一軒家を構えているが、ママの浮気のせいで、パパは仕事に没頭して現実逃避。

おじいちゃんはアメリカで獣医をしていたが、おばあちゃんが亡くなり、物忘れがひどくなっていった。心配したパパは、おじいちゃんをロンドンに呼び寄せた。でも、話がちぐはぐ。ホームパーティーは派手にぶち壊し、オープンを使って焼け死にしそうになったり、ママは毎日、ヒステリー状態。夫婦仲もさらにこじれ気味。

ぜん息があるマチルダはある日、主治医に「アルツハイマーってどんな病気?」と聞いてみた。ドクターはていねいに記憶が失われるしくみだけでなく、進行を抑えるには、本人が望むことをしてあげるのがいいとも教えてくれた。

10歳のマチルダは考えた。おじいちゃんは昔、新婚旅行で訪ねたベネチアにもう一度、行きたいと言っていた。認知症が悪くならないように、私がベネチアに連れて行ってあげよう!

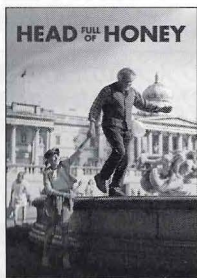
というわけで、ロンドンからバリ経由ベネチア行きの珍道中がはじまる。途中下車するおじいちゃんを追いかけ、スイスの美しい山岳地帯をヒッチハイク。移民に難民、修道院のシスターたちに助けをもらい、「水の都」にたどりついたが…。

本作はドイツで制作した作品を監督自身がハリウッド版にリメイクしたそう。かしこく明るいマチルダの破天荒な「ヤングケアラー」ぶりがなかなか楽しい。

ドタバタコメディに近いが、アルツハイマー型認知症をしっかり教え、『ケープ・フィア』などで知られるニック・ノルティ(1941年生まれ)の自然な演技にも感心。なんと、マチルダ役は彼の孫ではなく、実の娘というのには驚いた。

評・小竹雅子

『ヘッド・フル・オブ・ハニー』



2018年/アメリカ/128分
 発元:ワーナー・ブラザーズ ホームエンターテインメント
 ©2018 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC. ALL RIGHTS RESERVED.

『ヘッド・フル・オブ・ハニー』デジタル配信中

cast

ニック・ノルティ
 ソフィア・レイン・ノルティ
 マット・ディロン
 エミリー・モーティマー
 ジャクリン・ピセット

staff

監督・脚本・編集・制作:ティル・シュバイガー
 脚本:ロー・マリンケ、ジョジョ・モイーズ
 撮影:レネ・リクター
 音楽:マルティン・トートウシャロウほか

director

ティル・シュバイガー監督は1963年、フライブルグ(ドイツ)生まれ。舞台俳優から1998年、ハリウッドに進出。2005年、『裸足の女』で主演・監督・脚本・製作・編集を手がける。

おだけ・まさこ
 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰

【最近、観た映画】

『その手に触れるまで』(ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ監督、2019年)はベルギーを舞台に、過激思想に感化されたイスラム教徒の少年と見守る大人たちを描く。

『「科学的介護」を現場で実現する方法: 2021年度改正介護保険のポイント早わかり』

田中 元 ● 著 (発売: ばる出版) 1,500円+税



この項目は必ず読。野に入れた展開を予測。的介護を視

科学的介護をQ&Aで解説した本。Q&A方式本でよくある、個別の問いに対する答え・解説ではなく、解説文が章内で繋がっている工夫がとても良い。だから章ごとのテーマに沿った体系的な知識が得られるし、1冊読むと科学的介護全体を見渡すことができる。プロローグでは今改定の全体像を把握する視点を提示しているの必見。章立ては1章・科学的介護のしくみ、2章・加算算定のしくみ、3章・科学的介護に向けた現場の体制づくり、4章・LIFE操作の進め方、5章・PDCAサイクルの回し方。居宅介護支援以外のサービスについては、国は「LIFEに情報提供し、フィードバック情報を活用することが望ましい」と推奨している。一方、ご存知のように居宅介護支援ではこの推奨がなく、LIFE等の情報を利用して、PDCAサイクルの構築・推進に努めるとするのみ。田中氏によれば国は「努める」とはしたものの、ケアプラン情報等のLIFEへの提供は推奨していないことになり、す」と指摘。田中氏は国が「適切なケアマネジメント手法の策定と普及」に向けた作業を進めていることに注意すべきとした上で、「居宅介護支援における科学的介護を視

これまでにない業務改革の波を どう乗り切るか

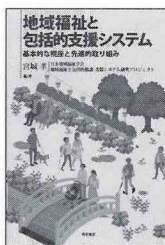
科学的介護をQ&Aで解説した本。Q&A方式本でよくある、個別の問いに対する答え・解説ではなく、解説文が章内で繋がっている工夫がとても良い。だから章ごとのテーマに沿った体系的な知識が得られるし、1冊読むと科学的介護全体を見渡すことができる。プロローグでは今改定の全体像を把握する視点を提示しているの必見。章立ては1章・科学的介護のしくみ、2章・加算算定のしくみ、3章・科学的介護に向けた現場の体制づくり、4章・LIFE操作の進め方、5章・PDCAサイクルの回し方。居宅介護支援以外のサービスについては、国は「LIFEに情報提供し、フィードバック情報を活用することが望ましい」と推奨している。一方、ご存知のように居宅介護支援ではこの推奨がなく、LIFE等の情報を利用して、PDCAサイクルの構築・推進に努めるとするのみ。田中氏によれば国は「努める」とはしたものの、ケアプラン情報等のLIFEへの提供は推奨していないことになり、す」と指摘。田中氏は国が「適切なケアマネジメント手法の策定と普及」に向けた作業を進めていることに注意すべきとした上で、「居宅介護支援における科学的介護を視

研究成果を元に今こそ、システム構築に本腰を!

13の自治体の先進的な取り組み事例が紹介されているが、印象に残ったのが北海道美瑛町の事例。美瑛町では市街地から離れた周辺地域に通所介護等を整備するのが困難な状況があった。町内に在籍するケアマネの提案により、不足していた通所系サービスについて住民に対して「ニーズ調査が行われることになった。その結果、自由度の高い「通い」や泊まりの機能を持った質の高い介護が求められていることが明らかになったのだ。つまり、ケアマネの「分析的な視点によりニーズ調査の結果が、日常生活圏域へ反映され、介護保険事業計画につながった」。仲間が頑張っている姿に勇気づけられる。巻末にはアンケート調査票も掲載。

『地域福祉と包括的支援システム: 基本的な視座と先進的取り組み』

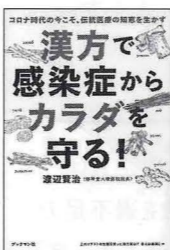
宮城 孝他 ● 編著 (発売: 明石書店) 3,850円(税込)



本書は2017年度から開始された、日本地域福祉学会の「地域福祉と包括的相談・支援システム研究プロジェクト」と、法政大学大学院人間社会研究科の「地域包括ケアシステム研究プロジェクト」の研究成果をまとめたものだ。理論編、事例編の2部構成。本書の目的は、①包括的支援システムの全国的な動向分析と、②自治体へのヒアリングを元に、包括的支援システムの特徴と整備までのプロセス、成果や課題を明確にすることだ。

『漢方で感染症からカラダを守る! コロナ時代の今こそ、伝統医療の知恵を生かす』

渡辺賢治 ● 著 (発売: ブックマン社) 1,600円+税



漢方薬も紹介、「後遺症の漢方治療」も必見。

「漢方で感染症に罹りにくい体を作る」はすぐに取り組めるので実践しやすい手はない。お勧めの漢方薬も紹介、「後遺症の漢方治療」も必見。

漢方は身近な薬として日本に根付いているが、本書を読むと「今まで漢方のほんの一部しか知らなかったんだ」と驚くだろう。渡辺氏は漢方専門医院 修琴堂 大塚医院の院長。本書は渡辺氏が市民公開講座で講演した際の内容を元にまとめられた。本書の見どころの1つとして、渡辺氏が新型コロナウイルス感染症に対して漢方治療を行った経験談がある。新型コロナウイルスに対する中国の伝統医療政策も紹介されていて、日本の漢方医との役割の違いに目を瞠る。中国では新型コロナウイルス感染者が急増する中で、中醫師(中国伝統医療の医師)らにより清肺排毒湯が開発された。この新薬は軽症から中等症までの患者に効果を発揮したという。

感染症には漢方が有効!